

鳥海登山

二年 齋藤千加子（昭和五九年度）

七月三十日、二年生全員で鳥海登山をしました。その日はとても天気がよく、登山するには最高の天気でした。

私は前日、「明日は鳥海登山だ、早く登りだ。」と思っていたながら寝ました。でもなかなか寝つかれず、結局寝りについたのは一時過ぎになったと思います。

次の日、一同は朝早く起き、朝食を済ませて準備完了、出発前に写真を撮りました。

はじめは道路を少し歩き、いよいよ山道です。階段の途中で十分位休憩し、再び階段を登りはじめました。しばらく行くと、冷たい水の流れている所がありました。

のどの渴いている私は、一ぱい飲みました。冷えていて、とてもおいしい水でした。ついでに缶ジュースをその水に入れて冷しました。十分位休み、又出発しました。

そこで、一番印象に残っているのは、崖みたいな所を登ったことです。崖といつても、大きい石が幾つも重なっているようなところで、そこを登る時一番恐かったです。両側が霧で白くなっているのです、とっても恐く感じました。丁度その時、半袖シャツを着ていたので、腕に冷つという感じがありました。急に寒くなりました。そこから頂上に着くまでは無我夢中だったので途中の様子はよく覚えていませんが、ただ「疲れた。」の一言しか言えません。

頂上で昼食をとって少し休みました。疲れが出て急に眠く

なりました。用便を済ませ、いよいよ下山です。最初のコースではなく、別のコースで下りて来ましたが、それにしても登ったり下ったりで、朝ほどではなかったが、大分疲れしました。お互いに励ましながら下山した。「大平山荘」に着いた時は、ホツとしました。酒田までの帰りはバスでした。

翌日は、くちびるや腕が痛くなりました。くちびるはかさかさ、腕はかたくなつて。数日後、腕は皮が全部むけてしまいました。風呂に入るのも苦労しました。

今では、その痛みがとってもよい思い出になりました。一緒に登ってくれた父さん母さん、ありがとうございました。